

2021 年度事業報告

2021 年度についても、新型コロナウイルスの世界的蔓延が断続しており、SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) の進捗に多大な影響を与える状況となり、当財団の活動においても、国内でのイベントの制限や海外との往来および海外での各種イベントなどの延期あるいは中止を余儀なくされました。

そのような変容した社会状況の中、各種施策について実施計画を柔軟かつ適切に修正しながら、前年同様、公益目的事業たる助成事業、表彰事業、国際協力事業、ICT 普及事業に積極的に取り組みました。主な追加・修正施策としては、助成事業では助成枠の拡大、国際協力事業では開発途上国の人材育成やデジタルデバイド解消プロジェクトなどを実施しました。

I 組織と運営状況

1. 組織

(1) 役員・評議員

役員は 10 名 [附属明細資料 1 : 役員名簿]、評議員は 11 名 [附属明細資料 2 : 評議員名簿] です。

(2) 審査委員

審査委員は 13 名 [附属明細資料 3 : 審査委員名簿] です。

(3) 会議の開催状況

理事会を 3 回、評議員会を 1 回、審査委員会を 3 回、それぞれ開催しました。

[附属明細資料 4 : 会議の開催状況]

II 事業活動

1. 助成事業

(1) 調査研究助成

ICT が拓く豊かな未来社会をテーマとし、ICT の普及・発展、グローバル化、ICT を活用した社会的課題の解決に寄与する調査、研究（技術、産業、制度、社会、文化など）に対する『調査研究助成』は、公募による募集・審査の結果、23 件の応募がありました。「社会的課題の明確さ」、「具体的な創造価値」、「新規分野の開拓」、「グローバル研究」などに主眼をおいて審査を行うとともに、助成枠を拡大し、15 件について合計 4,175.5 万円の助成を実施しました。

[附属明細資料 5 : 調査研究助成]

(2) 社会的・文化的諸活動助成

ICT を通じて社会、教育、環境などの課題解決や地域社会の国際化の促進に貢献する

各種の非営利団体（NPO）・非政府組織（NGO）の活動、ならびに開発途上国における教育、文化、生活支援などの活動に対する『社会的・文化的諸活動助成』は、公募による募集・審査の結果、6件、合計598.5万円の助成を実施しました。

[附属明細資料6：社会的・文化的諸活動助成]

(3) 目的型諸活動助成

SDGsの促進の視点に立ち、日本国内におけるデジタルデバイド解消の貢献活動に対する『目的型諸活動助成』は、「課題解消による社会的貢献」や「課題解決策」などに主眼を置いた審査の結果、2件、合計600万円の助成を実施しました。

[附属明細資料7：目的型諸活動助成]

(4) 国際会議開催助成

ICTの普及・発展に寄与する国際会議に対する『国際会議開催助成』は、公募による募集の結果11件の応募があり、情報通信の普及・発展への寄与度、先端性などを審査し、9件、合計450万円の助成を実施しました。

[附属明細資料8：国際会議開催助成]

(5) 留学生助成

① 外国人留学生助成

海外から日本に留学中で、国内外の情報通信の普及・発展、グローバル化に貢献する分野で研究を行う外国人大学院生を対象とし、指定校から推薦された21名の候補者から16名（理系14名、文系2名）を選考し、合計1,680万円の助成を実施しました。

なお、21年度は、新型コロナウイルスでの支援強化の観点から助成枠を拡大しました。

② 日本人留学生助成

日本から海外に留学する者で、法律、経済、社会、文化、技術の各分野において国際的視野に立ち、社会に貢献するテーマで研究を行っている大学院生を対象とし、指定校から推薦された15名の候補者から3名を選考し、合計1,440万円の助成を実施しました。

③ 語学留学助成

将来、国際的な知見に立ち日本と東南アジア諸国の発展に貢献することを目指し、ビルマ語、モンゴル語、カンボジア語の習得のために当該国に留学する日本人大学生を対象とし、指定校から推薦された4名の候補者から3名を選考し、合計165万円の助成を実施しました。

[附属明細資料9：留学生助成]

(6) 著書出版・海外学会等参加助成

情報通信に係る論文誌（Nextcom）の監修委員会での審査・選考の結果、著書出

版助成について、2 件、合計 400 万円の助成を実施しました。海外学会などへ参加するための助成については、新型コロナウイルスの影響を受け、申請がありませんでした。

[附属明細資料 10：著書出版助成]

(7) 青少年啓発・育成活動助成

1) 科学実験教室

情報通信振興の視点から、青少年の科学技術への好奇心醸成と啓発を目的として開催される「科学実験教室」への助成を実施しました。今年度は新型コロナウイルスの影響で、九州大学（オンライン／8月）と北海道大学（12月）、広島市立大学（3月）で開催しました。東北大学、名古屋大学、香川大学では開催を見送りました。3校、合計 269.6 万円の助成を実施しました。

2) 中高生への即興型英語ディベートの普及

全国の中高生を対象とした即興型英語ディベートの普及活動を通じて、グローバル人材育成に寄与するPDA（一般社団法人パラメンタリーディベート人材育成協会）の活動を支援しました。21年度は通常の助成に加え、日本国内のほか、海外への発信・普及と交流を目的としたホームページのリニューアルに対する支援を行い、合計 230 万円の助成を実施しました。

2. 表彰事業

公募による募集・審査の結果、『KDDI Foundation Award』は、15 件の応募があり、KDDI Foundation Award 本賞 2 件、合計 400 万円、KDDI Foundation Award 業績賞 1 件、合計 50 万円、KDDI Foundation Award 貢献賞 4 件、合計 120 万円、合計 570 万円を贈呈しました。

[附属明細資料 11：KDDI Foundation Award 本賞・業績賞・貢献賞]

3. 国際協力事業

(1) 開発途上国の人材育成に資する技術研修の実施

途上国における情報通信の改善・拡充を担う人材育成のために、アジア・太平洋電気通信共同体の計画に基づき、「ルーラル地域でのラジオ放送を活用した防災行政情報セミナー」及び「サイバーセキュリティ技術研修～最近のリスク動向とその対策」をオンラインにて実施しました。2 コース合計で、アジア太平洋地域の 30 名の研修員に対して、計 18 日間の研修を実施しました。

[附属明細資料 12：海外研修業務の実施状況]

(2) 国際会議への参加

ICT の先進技術・サービスの途上国における円滑な導入を支援することを目的とした ITU-

D（国際電気通信連合 開発部門）、APT（アジア・太平洋電気通信共同体）などの主催する国際会議にオンライン出席し、財団実施の共同プロジェクトの実施結果、日本での最新通信技術・サービス動向や途上国に適した通信技術の提案・紹介を行いました。

(3) 開発途上国におけるデジタルデバイド解消プロジェクトの実施

新型コロナウイルスの影響により相手国や日本での会議など往来が制限されましたが、オンライン会合やリモートによる現地調査などを通じて国際機関、政府機関、関連団体と連携して開発途上国におけるデジタルデバイド解消プロジェクトを実施しました。

APT の開発援助プログラムの枠組みにおいては、「モンゴルの極寒地と砂漠地帯での廉価な光ファイバーアクセス網のパイロット導入」、「ネパールのスマートネットワーク技術を活用した地方行政サービスの展開」、「ベトナムの洪水後の道路状況把握のための GPS やデジタルマップなどの画像処理技術を活用した UAV (Unmanned Aerial Vehicle) システムの研究」、「モンゴルのルーラルエリアでの FM 緊急警報放送システム (EWBS : Emergency Warning Broadcast System) の実証調査・研究」、「ベトナムの医療チャットボットを利用した e サービスプラットフォームの調査研究」を推進するとともに、光ファイバーの追加調達（モンゴル）を実施しました。これに続くプロジェクトとして、「モンゴルの通信過疎地域における防災やコロナ感染症予防情報伝達のための FM 緊急警報放送システムや ROF (Radio Over Fiber) を利用したパイロットプロジェクト」、「ミクロネシア連邦の簡易敷設による光ファイバー網構築と遠隔医療にて医療サービス改善やコロナ感染症リスクを低減させる調査研究」に着手しました。

[附属明細資料 13：開発途上国における APT プロジェクトの実施状況]

(4) チャリティコンサート開催とカンボジア、ミャンマー、ネパールにおける教育文化支援の実施

途上国教育支援を目的としたチャリティコンサートは 2 年連続で中止しましたが、2021 年度は新型コロナウイルスの感染防止対策を万全にして「チャリティコンサートクラシック 2022」を開催しました。

カンボジアでは 14 校目の KDDI スクール建設、PC 英語教室の拡充を計画・準備を進めていましたが、カンボジア側の諸事情により中断しています。

伝統芸能スバエク・トム影絵芝居 (Ty Chean 一座) への支援については、影絵人形制作支援の他、練習場兼劇場の環境整備などを実施しました。

ミャンマーでは 12 月に公立学校が再開したのを機に、ビレッジスクールでも新規カリキュラムを策定し、美術や PC、英語、音楽の授業を行いました。

ネパールでは、視聴覚障がい者向けデジタル教材によるインクルーシブな教育に取り組みました。手話を挿入したデジタル教材 (288 教材) および音声読上げ機能のある電子書籍 (30 書籍) を完成し、特別学校 3 校へ導入しました。この取り組みは当財団とユニセフが分担して支援しています。コロナ禍により断続的に学校閉鎖が行われていますが、デジタル教

材をタブレット端末に保存して自宅で学習できる取組みを継続しています（対象 6 校、タブレット 200 台）。論理的思考を育むための「楽しみながら学ぶロボットプログラミング教育」は現地の先生方による取組みが続いています。

ベトナムでは、郵政通信技術大学(Posts and Telecommunications Institute of Technology)の e ラーニングプラットフォームの整備・拡張プロジェクトに着手しました。コロナ禍で離職した技術者の再教育や就職支援機能を追加するなどの機能拡張も含め、支援を継続しています。

(5)NPO 支援

国際協力活動を幅広く展開する NPO の活動支援を目的に通信インフラ（サーバホスティングサービスなど）運用の資金を継続実施しました。2021 年度は、1 団体への支援を実施しました。支援先とその内容は以下のとおりです。

- ① ジャパン・プラットフォーム(WEB および DNS の運用支援)

4. ICT 普及事業

(1)「MCPC モバイルシステム/IoT システム技術検定試験対策講習会」の実施

2021年度の「MCPCモバイルシステム技術検定試験対策講習会」に並びに「IoTシステム技術検定試験対策講習会」は、春季および秋季とも、感染防止対策を講じた上で、会場およびオンラインを併用して開催しました。また、個別企業向けにもオンラインでの講習会を開催しました。

[附属明細資料 14：MCPC モバイルシステム/IoT システム技術検定試験対策講習会の実施状況]

(2)国際コミュニケーション・フォーラムの開催

公益財産法人情報通信学会との共催により、2021 年度春季（第 44 回）及び秋季（第 45 回）国際コミュニケーション・フォーラムをオンラインにて実施し、春季は本格化するデジタル改革の実現に向けての方策や展望について、秋季は電波利用の高度化に向けた政策の具体化に資することを目的とした電波政策の今後について、それぞれ活発な議論が行われました。

(3)広報誌の発行

2021 年版財団広報誌（KDDI FOUNDATION Vol.13）を 1,700 部発行し、大学などの教育機関、研究機関、財団関係者、最近の助成対象者を中心に配布しました。

(4)「衛星通信年報」の発行

昨年度に引き続き、衛星通信・衛星放送分野の関係機関、民間会社からの寄付金が得られたことから、我が国の政策、事業活動、国際機関の活動など、国内外の動きをまと

めた令和3年版の衛星通信年報を発刊しました。

5. 収益事業

「IPSTAR 衛星の日本における電波免許取得」に関する民間会社からの案件を1件実施しました。本案件は次年度へ継続となりました。

以 上

Ⅲ 2021 年度事業報告の附属明細資料

資料 1

役員名簿

(敬称略・理事は五十音順、◎印は常勤)

(2022 年 3 月 31 日現在)

財団役職	氏名	所属・職位
理事長	鈴木 正敏	株式会社 KDDI 総合研究所 主席研究員
専務理事◎	真鍋 洋文	
理事	明田 健司	KDDI 株式会社 執行役員 経営戦略本部長 兼 コーポレート統括本部 経営管理本部 副本部長
理事	江崎 浩	東京大学大学院情報理工学系研究科 教授、デジタル庁チーフアーキテクト (非常勤)
理事	大橋 弘	東京大学公共政策大学院 院長・教授、東京大学院経済学研究科 教授
理事	関根 千佳	株式会社ユーディット 会長 兼 シニアフェロー、同志社大学 客員教授
理事	長谷山 美紀	北海道大学 副学長、大学院情報科学研究院長
理事	山内 弘隆	一橋大学大学院経営管理研究科 特任教授
理事	脇濱 紀子	京都産業大学現代社会学部 教授
監事	松永 幸廣	PwC 京都監査法人 マネージング・パートナー 公認会計士

評 議 員 名 簿
(敬称略・五十音順)

(2022年3月31日現在)

氏 名	所属・職位
内海 善雄	元国際電気通信連合 事務総局長
角川 歴彦	株式会社KADOKAWA 取締役会長、会長執行役員
金子 郁容	慶應義塾大学 名誉教授
姜 尚中	東京大学 名誉教授、 熊本県立劇場 理事長兼館長、 鎮西学院 学院長
児玉 圭司	日本放送協会 理事・技師長
菅谷 実	慶應義塾大学 名誉教授
田中 孝司	KDDI 株式会社 代表取締役会長
辻 正次	神戸国際大学 学長、 大阪大学 名誉教授、 兵庫県立大学 名誉教授、 星槎大学 客員教授
土井 美和子	国立研究開発法人情報通信研究機構 監事、 奈良先端科学技術大学 理事、 東北大学 理事
日比野 隆司	株式会社大和証券グループ本社 取締役会長兼執行役、 大和証券株式会社 取締役会長
保坂 雅樹	西村あさひ法律事務所 パートナー経営会議議長 弁護士

審査委員名簿
(敬称略・委員は五十音順)

(2022年3月31日現在)

氏名	所属・職位	専門分野
委員長 森川 博之	東京大学大学院工学系研究科 教授	IT・ネットワーク
委員 加藤 寧	東北大学大学院情報科学研究科 教授	情報通信技術論
後藤 玲子	茨城大学人文社会科学部法律経済学科 教授	経済政策論・政策評価
眞田 幸俊	慶應義塾大学理工学部電子工学科 教授	ブロードバンド無線システム
宍戸 常寿	東京大学大学院法学政治学研究科 教授	情報法
高田 潤一	東京工業大学 副学長（国際連携担当）／環境・社会理工学院 教授	電波伝搬・電波応用計測
釣谷 剛宏	株式会社 KDDI 総合研究所 執行役員	
戸川 望	早稲田大学大学院基幹理工学研究科 教授	SoC 設計技術
中小路 久美代	公立はこだて未来大学システム情報科学部、情報アーキテクチャ学科 教授	インタラクティブデザイン
中村 彰宏	中央大学 経済学部 教授	公共経済学
林 秀弥	名古屋大学大学院法学研究科 教授、同アジア共創教育研究機構 教授	経済法
村上 陽亮	株式会社 KDDI 総合研究所 執行役員	
湧口 清隆	相模女子大学人間社会学部社会マネジメント学科 教授	情報通信の経済政策

会議の開催状況

1. 理事会

回数	開催年月日	議案・報告事項
第 38 回	2021 年 5 月 28 日	(議案) 1. 2020 年度事業報告 2. 2020 年度決算報告 3. 第 18 回評議員会の招集および提出議題 (報告) 1. 職務執行状況の報告
第 39 回	2021 年 9 月 10 日	(議案) 1. 2021 年度 KDDI Foundation Award の対象者(案)
第 40 回	2022 年 3 月 11 日	(議案) 1. 2022 年度事業計画(案) 2. 2022 年度収支予算(案) 3. 2022 年度助成の対象(案) (報告) 1. 職務執行状況の報告

2. 評議員会

回数	開催年月日	議案・報告事項
第 18 回	2021 年 6 月 14 日	(議案) 1. 2020 年度決算報告 2. 評議員の選任 (報告) 1. 2020 年度事業報告 2. 2021 年度事業計画及び収支予算 3. 審査委員の委嘱

3. 審査委員会

開催年月日	議案・報告事項
2021 年 4 月 19 日	(議題) 2021 年度 KDDI Foundation Award 第一次選考会
2021 年 8 月 24 日	(議題) 1. 2021 年度 KDDI Foundation Award 第二次選考会 2. 2022 年度助成プログラム審査要項説明
2021 年 12 月 28 日	(議題) 1. 2022 年度助成プログラム審査 2. KDDI Foundation Award の課題対応説明

調査研究助成

研究者	研究テーマ	研究期間	助成額 (千円)
立花 良 東北大学 大学院情報科学研究科 人間社会情報科学専攻 助教	VR 酔いを防止する多感覚情報基 準値の解明	2022.4.1～ 2025.3.31	3,000
村松 大陸 電気通信大学情報理工学研究科 機能知能システム専攻 准教授	生体近傍電波伝搬メカニズム解明と 通信応用	2022.4.1～ 2024.9.30	3,000
木下 奈都子 筑波大学生命環境系 助教	病害虫センサと ICT による持続的食 糧増産	2022.4.1～ 2025.3.31	3,000
小島 駿 宇都宮大学 工学部基盤工学科 助教	高効率な非直交多元接続方式の 開発	2022.4.1～ 2025.3.31	3,000
橋本 卓弥 東京理科大学 工学部・機械工学科 講師	震災建物のデジタル補修法に関する 研究	2022.4.1～ 2024.3.31	3,000
高山 佳久 東海大学 情報通信学部 通信ネットワー ク工学科 教授	海中活動を促進する高速光無線技 術の創出	2022.4.1～ 2025.3.31	2,755
中山 悠 東京農工大学 工学研究院 准教授	グリーンエッジコンピューティング基盤 技術	2022.4.1～ 2025.3.31	3,000
荒川 伸一 大阪大学大学院 情報科学研究科情報ネ ットワーク学専攻 准教授	アジャイル情報ネットワークに関する研 究	2022.4.1～ 2025.3.31	3,000
小篠 裕子 東京電機大学 システムデザイン工学部 情報システム工学科 助教	デジタルなりすましを防止するフェイク 検出	2022.4.1～ 2025.3.31	3,000
栗原 淳 兵庫県立大学大学院 情報科学研究科 准教授	匿名 DNS の攻撃および高度化手 法の研究	2022.4.1～ 2025.3.31	3,000
青木 信雄 広島市立大学大学院 情報科学研究科 情報工学専攻博士課程前期 1 年	データエコシステムのための PAISP 開発	2022.4.1～ 2023.3.31	1,000
千島 雄太 筑波大学 人間系 助教	VR を活用するセルフ・カウンセリング 技法	2022.4.1～ 2025.3.31	3,000

田中 沙織 日本九州産業大学 人間科学部・子ども教育学科 准教授	ICT を用いた身体活動環境評価の開発	2022.4.1～ 2024.3.31	2,000
山本 英弘 筑波大学 人文社会系 准教授	電子投票における法的・社会的課題の探究	2022.4.1～ 2025.3.31	3,000
岡田 仁志 国立情報学研究所 情報社会相関研究系 准教授	CBDC の構造にみる通貨高権の集中と分散	2022.4.1～ 2025.3.31	3,000
合計		15 件	41,755

資料 6

社会的・文化的諸活動助成

団体名	活動名称	活動時期 活動場所	助成額 (千円)
一般社団法人 モザンビークのいのちをつなぐ会	モザンビーク共和国寺子屋 ICT 教育プロジェクト	2022.4.1～ 2022.9.30 モザンビーク共和国カーポデルガド州ペンバ寺子屋・ナンブラ州ナンブラ寺子屋	1,000
NPO 法人 ソシオの杜	「ソシオエステティック」の普及・啓発活動による地域社会の活性化	2022.4.1～ 2023.3.31 佐賀県	1,000
東北大学	知財戦略策定に主体的に参画する技術者・研究者を育成するための知財教育活動	2022.4.1～ 2023.6.30 宮城県仙台市	1,000
認定 NPO 法人 ブリッジフォースマイル	児童養護施設などの子どもたちの自立支援活動および生活必需品の提供	2022.4.1～ 2023.6.1 東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・佐賀県・熊本県	985
078NEWS	新しい地域メディアの創造	2022.4.1～ 2023.6.30 兵庫県神戸市	1,000
鎌倉わくわくサロン	鎌倉わくわくサロン	2022.4.13～ 2023.6.30 神奈川県鎌倉市	1,000
合計		6 件	5,985

目的型諸活動助成

団体名	活動名称	活動時期 活動場所	助成額 (千円)
特定非営利活動法人 青春基地	高校生向け「ジェネレーティブワークショップ」の実施における学校の DX 推進に向けて	2022.4.1～ 2025.3.31 東京都・長野県・沖縄県など	3,000
日本デジタル・シティズンシップ教育研究会	デジタル・シティズンシップ教育の啓発・普及	2022.4.1～ 2025.3.31 東京都	3,000
合計		2 件	6,000

国際会議開催助成

申請団体	主催団体名	会議の名称	助成額 (千円)
IROS2022 実行委員会	日本ロボット学会、IEEE、IEEE RAS、IEEE IES、計測自動制御学会	The 2022 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robotics and Systems	500
WCCE2021 運営委員会	一般社団法人情報処理学会 コンピュータと教育研究会	The 12th World Conference on Computers in Education 2022 (WCCE2022)	500
第 22 回固体センサ・アクチュエータ・マイクロシステム国際会議組織委員会	一般社団法人電気学会	第 22 回固体センサ・アクチュエータ・マイクロシステム国際会議 Transducers 2023	500
第 33 回太陽光発電国際会議組織委員会	第 33 回太陽光発電国際会議組織委員会	第 33 回太陽光発電国際会議 / 33rd International Photovoltaic Science and Engineering Conference	500
EDUsummIT2022 大会委員会	EDUsummIT2022 大会委員会	教育における情報通信技術に関する国際サミット/EDUsummIT2022	500
第 13 回フォトニック結晶国際シンポジウム組織委員会	第 13 回フォトニック結晶国際シンポジウム組織委員会	第 13 回フォトニック結晶国際シンポジウム (PECS-XIII)	500
一般社団法人 OPTICS & PHOTONICS International 協議会	一般社団法人 OPTICS & PHOTONICS International 協議会	OPTICS & PHOTONICS International Congress 2022(OPIC2022)	500

CLEO-PR 日本組織委員会	応用物理学会、電子情報通信学会エレクトロニクスソサイエティ、通信ソサイエティ	CLEO-PR2022 & ISOM'22、ODF'22 レーザー・エレクトロ-opticsに関する環太平洋会議&光メモリ・画像・計測国際シンポジウム、光学・フォトンクス設計と製造に関する国際会議	500
半導体レーザー国際会議国内委員会	一般社団法人電子情報通信学会	第 28 回半導体レーザー国際会議 28th International Semiconductor Laser Conference	500
合計		9 件	4,500

資料 9

留学生助成

①外国人留学生助成

助成対象者	研究テーマ	国籍	助成月数	年間助成額(千円)
NEHA ネハ 北陸先端科学技術大学院大学 博士 2 年	Designing discussion forum in massive open online courses for effective interaction among learners and instructors.	インド	12	1,200
BORWONPOB SUMETHEEPRASIT ボーウォンポブ スメーチープラシット 立命館大学大学院 修士 1 年	Development of 3D aerial reconnaissance system for a ground robot using variable configuration stereo with two UAVs.	タイ	12	1,200
NASIBA AFRIN ナシバ アフリン 北海道大学大学院 修士 2 年	Examination of cortical gyrification in cetaceans in comparison to terrestrial mammals	バングラデシュ	12	1,200
ERDENEBAATAR NANDIN ERDENE エルデネバートル ナンディン エルデネ 徳島大学大学院 修士 1 年	Social Distance Measurement for Indoor Environments	モンゴル	6	600
PHAM LAM DINH QUANG ファム ラム デイン クアン 長岡技術科学大学 修士 1 年	深層学習を用いた脳波解析に関する研究	ベトナム	12	1,200
ESLAM SABRY MOHAMADEAN ABDULMAGEED AHMED エスラム サブリ アハマド 名古屋大学大学院 修士 1 年	Non-linear quantum wire coupled to a quantum dot	エジプト	6	600

LATHTHUWAHANDI MALITH MADUSHANKA DE SILVA ラシスワンデイ マリス マドウシエンカ デ シルバ 長岡技術科学大学 修士 2 年	Comparison of the experimental and simulation results of acceleration mechanism of charge particles by the interaction between the fast mixed gas plasma flow and the perpendicular magnetic field	スリランカ	12	1,200
DOLBILINA VIOLETTA ドルビリナ ビオレッタ 名古屋大学大学院 修士 1 年	Development and assessment of a new model for enhancement of transportation system in Tashkent, Uzbekistan	ウズベキ スタン	6	600
LUU MINH NGHI リュウ ミン ギー 長岡技術科学大学 修士 1 年	立体ディスプレイに関する研究	ベトナム	12	1,200
GONZALEZ FLORES ROBERTO ゴンザレス フロレス ロベルト 長岡技術科学大学 修士 1 年	強化学習を用いた複合加工機の最適 制御	メキシコ	12	1,200
YAP SHOTA ヤップ ショウタ 名古屋大学大学院 修士 1 年	阻止節追加型投射モデル計数ソルバの 性能改善	マレーシア	12	1,200
AGWATA CHUKWUEBUKA アグワタ チュクウエブカ 上智大学大学院 修士 2 年	Development of a New Sustainable Printed Circuit Board (PCB) Recycling Machine	ナイジェリア	6	600
AKTER MOST ATIKA アクター エムオーエステー アティカ 奈良先端科学技術大学院大学 修 士 1 年	Collecting highly important disease genes and miRNAs corresponding to inflammatory bowel disease towards finding effective drugs.	バングラ デシュ	12	1,200
AZNI SYAZIERA BINTI ABDUL AZIS アズニ シャズイラ ビンティ アブドゥル アズ イス 福井大学大学院 修士 1 年	通信におけるデータ伝送の信頼性などの 向上	マレーシア	12	1,200
MOUAFOR BORIS IGWACHO ムアフォル ボリス イグワチョ 京都大学大学院 農学研究科 博士 2 年	Rice Contribution to Food Security in Cameroon: Case of Rice Production in the Western Highlands	カメルーン	12	1,200
MANDOUR MOHAMED ELMAHDI MANDOUR ELMAHDI マンドア モハメッド エルマーディ マンドア エルマーディ 京都大学大学院 経営管理教育部 修 士 1 年	大企業のデジタルトランスフォーメーション	スーダン	12	1,200
合計		16 件		16,800

②日本人留学生助成

助成対象者	研究テーマ	留学国 (予定)	留学 期間	助成額 (千円)
坂田 健太郎 東京大学 経済学研究科経済専 攻 博士1年	資産バブルと資本流入、金融規制	アメリカ	2022.9～ 2024.8	4,800
安藤 研吾 電気通信大学大学院 情報理工 学研究科 情報・ネットワーク工学 専攻 博士2年	セルフリー大規模 MIMO に関する研 究	ドイツ	2022.4～ 2024.3	4,800
吉村 駿佑 京都大学大学院法学研究科 法政理論専攻 修士2年	議院内閣制・大統領制の差は何を もたらすか	アメリカ	2022.9～ 2024.8	4,800
合計		3件		14,400

③語学留学助成

助成対象者	留学先大学名	習得語学	留学 期間	助成額 (千円)
原 彩乃 大阪大学 外国語学部 モンゴル語専 攻学部 2年	モンゴル国立大学	モンゴル語	2022.9.1～ 2023.6.30	550
秋山 裕平 東京外国語大学 国際社会学部 国 際社会学科 中央アジア地域/モンゴ ル語専攻 2年	モンゴル国立大学	モンゴル語	2022.9.1～ 2023.6.30	550
石田 優奈 東京外国語大学 言語文化学部 言 語文化学科 カンボジア語専攻 2年	王立ブノンペン大学	カンボジア語	2022.9.1～ 2023.7.31	550
合計			3件	1,650

資料 10

著書出版助成

著者	著書名	出版時期	助成額 (千円)
安岡 美佳 デンマーク・ロスキレ大学 准教授	北欧のスマートシティ	2023.3.31	2,000
齊藤 邦史 慶応義塾大学総合政策学部 准教授	プライバシーとパブリシティの法的保護	2023.5.31	2,000
合計		2件	4,000

KDDI Foundation Award 本賞

受賞者	業績	副賞 (千円)
鷺崎 弘宜 早稲田大学 理工学術院基幹理工学部 教授、グローバルソフトウェアエンジニアリング研究所・所長、研究推進部・副部長	スマートソフトウェアシステムの部品化再利用と品質保証および人材育成	2,000
山本 龍彦 慶應義塾大学 法務研究科 教授	プライバシー権の理論的研究	2,000
合計	2 件	4,000

KDDI Foundation Award 業績賞

受賞者	業績	副賞 (千円)
中野 賢 大阪市立大学 電気情報工学科 教授	分子通信に関する先駆的な研究	500
合計	1 件	500

KDDI Foundation Award 貢献賞

受賞者	業績	副賞 (千円)
金子 めぐみ 国立情報学研究所 アーキテクチャ科学研究系 准教授	モバイルシステムの無線資源の利用効率を高める手法に関する顕著な研究	300
山口 真一 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 准教授	ネット時代の社会・経済学	300
小林 照義 神戸大学 大学院経済学研究科 計算社会科学センター 教授	ウェアラブルセンサで切り拓く社会・経済ネットワーク研究	300
成田 悠輔 イェール大学 助教授／半熟仮想株式会社 代表取締役	社会的意思決定アルゴリズムのデータ駆動デザインとオープンソース開発実装基盤	300
合計	4 件	1,200

海外研修業務の実施状況

契約先	コース名	参加国/人数	期間
APT	ルーラル地域でのラジオ放送を活用した防災行政情報セミナー	6 カ国 11 名	2022 年 1 月 11 日 ～1 月 18 日
	サイバーセキュリティ技術	10 カ国 19 名	2022 年 2 月 2 日 ～2 月 17 日

開発途上国における APT プロジェクトの実施状況

実施国	概 要	
モン ゴ ル	件名	モンゴルの極寒地と砂漠地帯での廉価な光ファイバーアクセス網のパイロット導入
	実施期間	2018 年 12 月～2023 年 3 月
	メンバー	テレコムモンゴリア、モンゴル主管庁(通信情報技術庁)、地方政府(3 地区)、株式会社 OCC、KDDI 財団
	実施概要	広大な領土と過酷な自然の中での極寒地や砂漠などの過疎地域での生活向上に必須な広帯域アクセス網を廉価に構築する光ファイバー網を実証導入し、極寒地での耐久試験も実施した。また、追加プロジェクトとして、敷設区間拡張用の光ファイバーの調達を実施した。
ネ パ ー ル	件名	スマートネットワーク技術を活用した地方行政サービスの展開
	実施期間	2020 年 1 月～2023 年 3 月
	メンバー	ICT4D(現地 NGO)、ネパール主管庁(情報通信技術省、ネパール通信局)、ダル地方自治体、NICT(情報通信研究機構)、Global Plan Inc.、株式会社 OCC、KDDI 財団
	実施概要	前 APT プロジェクトにて構築したダル地方の地域ネットワークの拡張と高信頼化、および災害情報の公報、遠隔健診の拡充及び行政アプリの拡大を進めている。また、追加プロジェクトとして、X 線撮影装置や健診キットなどの調達を実施した。
ベ ト ナ ム	件名	洪水後の道路状況把握のための GPS やデジタルマップなどの画像処理技術を活用した UAV システムの研究
	実施期間	2020 年 1 月～2023 年 3 月
	メンバー	PTIT(郵政電信工芸学院)、ベトナム情報通信省、地方政府(カンナム州)、早稲田大学、KDDI 財団
	実施概要	多発する鉄砲水などの災害後の道路状況把握のため、UAV を活用してデータを収集し、解析するアプリケーションを開発した。追加プロジェクトとして、昨年度 UAV 用機能追加パーツや開発用キットの調達を実施した。

ベトナム	件名	医療チャットボットを活用した e サービスプラットフォームの研究
	実施期間	2021 年 1 月～2023 年 3 月
	メンバー	NIICS(情報通信国家戦略機構)、ベトナム主管庁(情報通信省)、KDDI 財団
	実施概要	WEB ベースのチャットボットプラットフォームにて、コロナ症状チェックやオンライン調査を実現するアプリケーションを試作し、評価・検証実施中。
モンゴル	件名	モンゴルのルーラルエリアでの、防災行政情報(PPDR)を FM 緊急警報放送システム(EWBS)の実証調査・研究
	実施期間	2021 年 1 月～2023 年 3 月
	メンバー	モンゴル主管庁(通信情報技術庁)、国家非常事態庁、モンゴル国営放送、一般財団法人 JTEC、KDDI 財団
	実施概要	FM ラジオ放送や緊急警報放送システム(EWBS)の運用について日本の技術を紹介し、モンゴル国内のガイドラインやフロー作成の上、FM 放送用モデル局を構築する調査研究を進めており、必要な機材や追加光ファイバーの調達を完了した。
モンゴル	件名	モンゴルの通信過疎地域における防災やコロナ感染症予防情報伝達のための FM 緊急警報放送システム(EWBS)や ROF(Radio Over Fiber)を利用したパイロットプロジェクト
	実施期間	2022 年 3 月～2024 年 6 月
	メンバー	モンゴル主管庁(通信情報技術庁)、国家非常事態庁、モンゴル国営放送、一般財団法人 JTEC、KDDI 財団
	実施概要	先行して実施している実証調査・研究を元に、パイロットシステムを構築・運用を実施することとし、同プロジェクトに着手した。
ミクロネシア連邦	件名	ミクロネシア連邦の簡易敷設による光ファイバー網構築と遠隔医療サービス改善やコロナ感染症リスク低減のための調査研究
	実施期間	2022 年 3 月～2024 年 6 月
	メンバー	ミクロネシア連邦運輸情報インフラ省、保健省、地域医師、BHN テレコム支援協議会、香川大学、メロディーインターナショナル、KDDI 財団
	実施概要	遠隔医療、特に周産期医療に関する適応可能性を探索する調査研究に着手した。

MCPC モバイルシステム/IoT システム技術検定試験対策講習会の実施状況

種別	コース名	参加人数 (延べ数)	実施日
春 期	一般	モバイルシステム技術検定 1 級 試験対策講習会	2021 年 5 月 15 日 (土) 5 月 16 日 (日) 5 月 22 日 (土)
		モバイルシステム技術検定 2 級 試験対策講習会	2021 年 5 月 29 日 (土) 5 月 30 日 (日)
		IoT システム技術検定試験 (基礎) 対策講習会	2021 年 6 月 13 日 (日)
		IoT システム技術検定 (中級) 試験対策講習会	2021 年 6 月 5 日 (土) 6 月 6 日 (日)
	個別	IoT システム技術検定試験 (基礎)対策講習会(4.5 時間)	2021 年 6 月 4 日 (金)
		IoT システム技術検定試験 (中級)対策講習会(6 時間)	2021 年 6 月 2 日 (水)
秋 期	一般	モバイルシステム技術検定 1 級 試験対策講習会	2021 年 10 月 2 日 (土) 10 月 3 日 (日) 10 月 10 日 (日)
		モバイルシステム技術検定 2 級 試験対策講習会	2021 年 10 月 16 日 (土) 10 月 17 日 (日)
		IoT システム技術検定試験 (基礎) 対策講習会	2021 年 10 月 30 日 (土)
		IoT システム技術検定 (中級) 試験対策講習会	2021 年 11 月 6 日 (土) 11 月 7 日 (日)
	個別	IoT システム技術検定試験 (基礎)対策講習会(4.5 時間)	2021 年 11 月 1 日 (月)
		IoT システム技術検定試験 (中級)対策講習会(6 時間)	2021 年 10 月 27 日 (水)

以上